

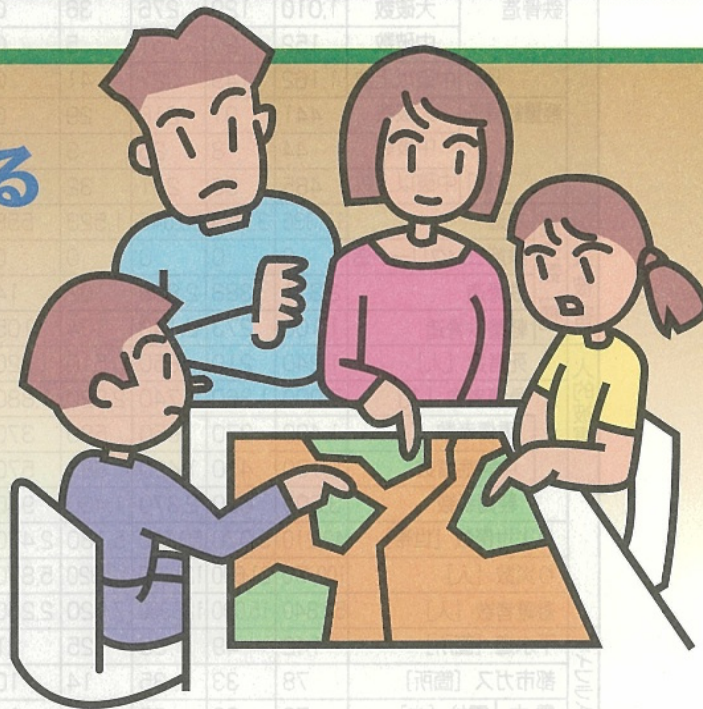
そなえる

1997
NO. 92

毎月15日は
川崎市民地震防災デーです

発行/川崎市
編集/建設局防災対策室
〒210 川崎市川崎区宮本町1番地
電話 (044) 200-2111 内線2840

川崎市周辺を震源とする 地震が発生すると 被害はどうなるのでしょうか



川崎市地震被害想定調査結果

川崎市では、昭和41年から、「川崎市地震専門部会（現在は地震工学・耐震工学・建築都市防災・地質学等の研究者17名により構成）」を設け、地震防災に関する調査研究を進めており、昭和63年には、南関東地震（震源域：相模トラフ）・東海地震（震源域：駿河トラフ）・近距離地震の3種類の地震に関する被害想定調査を行いました。

しかし、このときの調査では、近距離地震の震源を「東京湾周辺など、川崎市周辺で発生する地震」として震源を特定しませんでした。その後、平成4年に国の中央防災会議から発表された「南関東地域直下の地震対策に関する大綱」の中で、南関東地域の直下（フィリピン海プレートと北米プレートの境界）におけるマグニチュード7級の地震の発生の切迫性が指摘され、この種の地震に対する事前の対策が急務となりました。

そこで、このたび川崎市地震専門部会に「地震被害想定小委員会」を設け、新たに近距離地震のうち、震源を具体的に想定した、前記のプレート境界で発生する「プレート間地震」と、川崎市に影響を及ぼす可能性のある「活断層による地震」（図1参照）を対象として、現時点での知見を踏まえて、被害想定調査（地表面の地震動や液状化の予測、それに基づく人的・物的被害の予測）を行ないました。

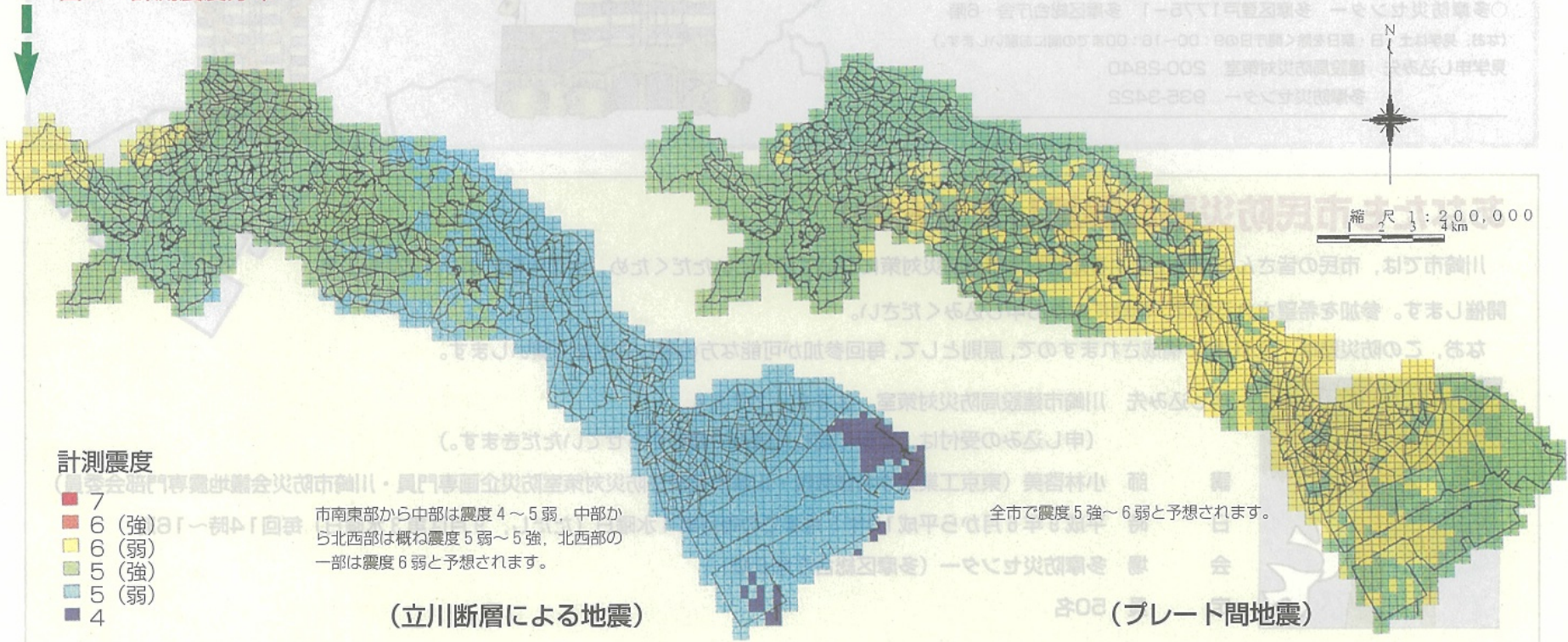
この調査結果の概要は、計測震度分布図（図2）や予測被害の概要（別表）のとおりです。この結果をご覧になって、皆さんのお住まいの地域がどのような状況になるかをイメージして、各家庭や地域で行なっておくべき対策に活かしてください。



図1 地震断層の位置図

プレート間地震——規模をマグニチュード7とし、川崎市に最も大きな被害を及ぼす場合を設定して、図1のとおりとしました。
活断層による地震——平成7年度に川崎市がおこなった活断層調査により、立川断層が本市域にまでは及んでいないことが明らかとなったため、図1のとおりとしました。

図2 計測震度分布



(立川断層による地震)

(プレート間地震)

予測被害の概要

() 内は被害率

被害種別	構造	プレート間地震								立川断層による地震								
		川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	全市 (%)	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	全市 (%)	
建築物被害	木造	全壊数	1,357	694	1,900	1,648	1,441	386	291	7,717(4.00)	0	0	0	50	77	330	849	1,306(0.68)
		半壊数	4,197	2,211	5,616	4,322	6,290	6,662	4,308	33,606(17.42)	114	184	1,108	2,546	3,998	7,566	6,400	21,916(11.36)
	[棟] 半壊以上数	5,554	2,905	7,516	5,970	7,731	7,048	4,599	41,323(21.42)	114	184	1,108	2,596	4,075	7,896	7,249	23,222(12.04)	
	鉄筋コンクリート造	大破数	257	34	80	21	31	19	23	465(2.58)	0	0	0	2	4	27	53	86(0.48)
		中破数	69	19	67	31	73	28	37	324(1.80)	0	0	3	8	22	41	63	137(0.76)
	[棟] 中破以上数	326	53	147	52	104	47	60	789(4.38)	0	0	3	10	26	68	116	223(1.24)	
	鉄骨造	大破数	1,010	129	276	36	0	0	0	1,451(6.49)	0	0	0	0	0	0	0	0(0.00)
		中破数	152	20	51	5	0	0	2	230(1.03)	0	0	0	0	0	1	16	17(0.08)
	[棟] 中破以上数	1,162	149	327	41	0	0	2	1,681(7.51)	0	0	0	0	0	1	16	17(0.08)	
	軽量鉄骨造	大破数	441	91	216	29	0	0	0	777(4.37)	0	0	0	0	0	0	0	0(0.00)
中破数		44	8	25	3	1	0	7	88(0.49)	0	0	0	0	0	12	84	96(0.54)	
[棟] 中破以上数	485	99	241	32	1	0	7	865(4.87)	0	0	0	0	0	12	84	96(0.54)		
火災被害	焼失数(棟)	木造	17,336	3,329	23,045	1,523	558	1,762	0	47,553(24.65)	0	3,329	14,377	131	558	2,986	0	21,390(11.09)
		鉄筋コンクリート造	0	0	0	0	0	0	0	0(0.00)	0	0	0	0	0	0	0	0(0.00)
		鉄骨造	2,311	388	2,888	162	14	43	0	5,806(25.95)	0	388	1,690	11	14	113	0	2,216(9.90)
		軽量鉄骨造	1,106	273	2,143	134	105	157	0	3,918(22.04)	0	0	0	0	0	0	0	0(0.00)
人的被害	死者数 [人]	1,240	210	850	510	320	100	10	3,240(0.27)	0	0	10	10	20	120	10	170(0.01)	
	負傷者数 [人]	7,000	1,360	4,740	2,920	1,880	780	160	18,840(1.56)	0	140	150	280	360	870	200	2,000(0.16)	
	重傷者数	1,400	270	950	580	370	160	30	3,760(0.31)	0	30	30	60	70	170	40	400(0.03)	
	中等症者数	2,100	410	1,420	880	570	230	50	5,660(0.47)	0	40	50	80	110	260	60	600(0.05)	
	軽傷者数	3,500	680	2,370	1,460	940	390	80	9,420(0.78)	0	70	70	140	180	440	100	1,000(0.08)	
	り災世帯数 [世帯]	42,210	9,070	50,930	5,180	2,470	2,870	490	113,220	0	7,150	30,320	300	860	4,800	1,360	44,790	
	り災数 [人]	100,470	21,600	121,220	12,320	5,870	6,840	1,160	269,480(22.40)	0	17,020	72,160	720	2,040	11,430	3,250	106,620(8.86)	
避難者数 [人]	52,840	15,090	128,960	7,020	2,250	5,830	0	211,990	0	15,090	71,490	500	2,250	10,710	0	100,040		
ライフライン被害	下水道 [箇所]	142	49	53	25	21	17	12	319(0.15)	0	0	0	1	2	8	9	20(0.01)	
	都市ガス [箇所]	78	33	35	14	10	5	8	183(0.12)	0	0	0	0	1	3	6	10(0.01)	
	電力 電柱 [本]	78	33	38	33	14	2	1	199(0.28)	0	0	0	0	0	0	5	5(0.01)	
	電話 配電ケーブル [km]	0.24	0.13	0.08	0.07	0.05	0.02	0.00	0.60(0.02)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02(0.00)	

KCDPC + TDPC = (P of M)²

Kawasaki City Disaster Prevention Center Tama Disaster Prevention Center Peace of Mind

川崎市防災センター+多摩防災センター=安心×安心

「川崎市防災センター」のバックアップ機能を持つ「多摩防災センター」が完成しました……

川崎市では、従来から24時間の防災監視体制をとり、災害発生時の情報収集や応急対策活動の指揮を行うなど、災害対策活動の中核的機能を果たす施設として、川崎区内の市役所第3庁舎に「川崎市防災センター」を設置していましたが、このたび新たに、多摩区総合庁舎内に「多摩防災センター」を整備しました。

この多摩防災センターは、大地震によって万一川崎市防災センターに被害が発生した場合、直ちに指令系統を切り替え、その機能を代行できるもので、この完成によって、川崎市の安全管理機能は一段と強化されました。

川崎市では、市民の皆さんの見学をお待ちしています。

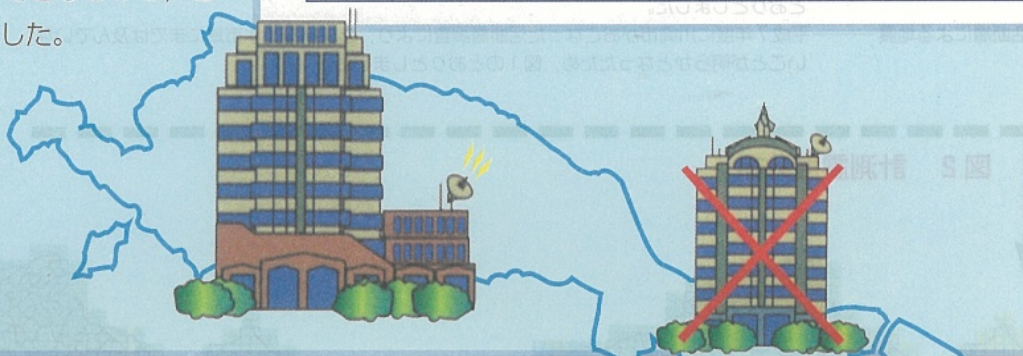
- 川崎市防災センター 川崎市宮本町1 川崎市役所 第3庁舎 7階
 - 多摩防災センター 多摩区登戸1775-1 多摩区総合庁舎 6階
- (なお、見学は土・日・祭日を除く開庁日の9:00~16:00までの間をお願いします。)
- 見学申し込み先 建設局防災対策室 200-2840
多摩防災センター 935-3422

被害想定のための基礎的な条件

項目	設定内容	
想定地震	プレート間地震	立川断層による地震
規模	M7.0	M6.6
発生時刻	冬の夕方	同左
気象条件	北北西の風・強風・風速8m/sec	同左
建築物	※ 約25万棟	同左
人口	※ 1,202,811人	同左

※平成7年10月時点のデータです。

なお、詳しい調査報告書は、各区役所の総務課や市役所の情報プラザで、概要はインターネット、ホームページ (<http://www.kawasaki.tao.or.jp/kawasakicity/>) でご覧いただけます。



あなたも市民防災塾に参加しませんか!

川崎市では、市民の皆さんに地震に関する知識や本市の防災対策について知っていただくため、次の内容により「防災塾」を開催します。参加を希望される方は、電話によりお申し込みください。

なお、この防災塾は、全10回で構成されますので、原則として、毎回参加が可能な方の申し込みをお願いします。



- 申し込み先 川崎市建設局防災対策室 200-2794
(申し込みの受付は、定員に達した時点で締め切らせていただきます。)
- 講師 小林啓美 (東京工業大学名誉教授・川崎市建設局防災対策室防災企画専門員・川崎市防災会議地震専門部会委員)
- 日時 平成9年6月から平成10年3月までの毎月第4水曜日 (ただし、9月は第3水曜日) 毎回14時~16時
- 会場 多摩防災センター (多摩区総合庁舎6階)
- 定員 50名

(開催場所は川崎区立)